

山行報告書

受付 No.	309	登山地・ルート	燕岳
目的	90周年の山小屋を訪ねる		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
11・23・水	晴	浜松＝中房 [Ⓟ] ～合戦小屋～燕山荘～燕岳～燕山荘～合戦小屋～ [Ⓟ] ＝浜松 6:41 9:13 10:21 11:04 11:38 12:35 14:17

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

手元に燕山荘の80周年記念バッチがあり、唯一持っている山バッチなので、90周年の今年も登ってゲットしようというのが今年目標の一つだった。が、なかなか足が向かず、山小屋の営業が終わりに近づき、今度こそ今シーズン最初の雪を踏みたいという気持ちもあり出かけてきた。

梓川SAで仮眠、明るくなってから登山口へ向かう。登山口までの道は、日陰では斜面に雪が残り、スタッドレスを履いているとはいえ路面の凍結を警戒して慎重に行く。駐車場には10台くらいあり、人気の山だと再認識する。登山口からは最初から雪があり期待通り。第一・第二・第三と順調にベンチを通過、第三ベンチと富士見ベンチの間の雪が少し固くなっていて合戦小屋でアイゼンを着ける。合戦沢の頭を見上げると風が強そうなのでカップも着ておく。GWに登ったときに合戦沢の頭へは雪の急斜面を直登した記憶があったのでアイゼンを着けたのだが、登って行くとまだ夏道がジグザグに続いていてアイゼンは必要なかったかも。そういえば下ってくる人も着けてなかった。頭から先、冬道がつけられており、尾根沿いに燕山荘を目指す。

燕山荘ではお楽しみ(バッチ)は後にしてまず燕岳をピストンする。燕山荘から少し下るとものすごい強風が吹いてきた。何よりの楽しみだった槍ヶ岳の展望は、あいにくのガスに阻まれて見ることはできなかった。燕岳への道では雪は吹き飛ばされてあまりなかったが、所どころ吹き溜まりのように深くなっている箇所もあり。トレースはついていた。強風の山頂で槍ヶ岳以外の展望を楽しみ戻る。

燕山荘に戻り、売店でバッチを探すが、90周年のものがない。確認すると、やはりないとのことだった。まあ、あったとしても、この時期ではきっと売り切れていただろう。バッチの代わりに90周年記念のバンダナを購入した。下りは合戦小屋までアイゼンを装着。足元の雪は朝に比べると緩んでいたが、天気が下降傾向なのを示すように空からは雪がちらつき始める中を登山口まで戻った。有明荘の温泉で温まってから帰浜する。次は100周年の年に登りたい。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----



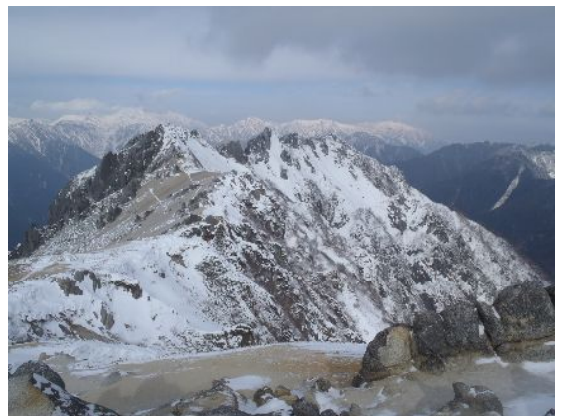
第二ベンチ



大天井方面の展望はきいたが、槍ヶ岳の方は
重くガスが垂れ込めていた



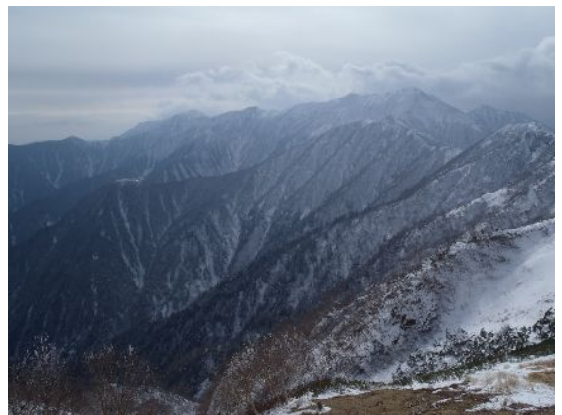
たしか最初に槍ヶ岳が見えるスポットの筈
だが…



北燕岳方向。鹿島槍ヶ岳まで展望があった



埋まった夏道。冬ルートは左の尾根上に行く



大天井～常念岳方面